

令和5年度環境調査結果（概要）

枚方市 環境部 環境指導課

1. 大気質・騒音の状況について

(1) 大気質

- ▶ 光化学オキシダント以外環境基準を達成

(2) 騒音

- ▶ 道路に面する地域の環境基準達成率 96.0%
- ▶ 一般地域の環境基準達成率 100%

2. 水環境の状況について

- ▶ 生物化学的酸素要求量（BOD）について
8年連続で環境基準を達成

3. 水環境に係る最近の話題

- ▶ 有機ふっ素化合物（PFAS）について
全国的に、河川等において高濃度で検出されるなど社会的問題になっている。
 - ▶ 本市では、令和3（2021）年から市内河川において、測定を開始し、一部で暫定指針値を超えた値が観測されている（詳細は後述）。

▶環境中における水質の基準

P F O S 及び P F O A は、令和 2（2020）年 5 月に『要監視項目※ 1』に指定し、河川における暫定的な目標値（暫定指針値）を設定

暫定指針値 1 リットルあたり50ナノグラム以下

.....
: ※ 1 要監視項目 :
: 環境基本法に基づき、「人の健康の保護に関連する物質ではあるが、
: 公共用水域等における検出状況からみて、直ちに環境基準とはせず、引
: き続き知見の集積に努めるべきもの」として設定したもの
:
.....

▶ 本市河川でのPFOS及びPFOAの現状

河川名	測定年度			暫定指針値 (ng/L)
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
基準点	①船橋川	150	—	230
	②穂谷川	130	—	69
	③天野川	140	—	75
準基準点	④黒田川	—	96	—
	⑤安居川	—	49	—
	⑥出口雨水幹線	16	—	12
	⑦藤本川	—	66	—

※ 赤字部分については、暫定指針値を超過した河川及び測定値

▶ 全国でのP F O S ・ P F O Aの検出状況

測定年度	暫定目標値超過地点数 ／測定地点数	暫定目標値を超過した 地点の測定値の範囲
令和3(2021)年度	38 地点（13都府県）／703地点	57～340
令和4(2022)年度	36 地点（16都府県）／732地点	52～2,200

(出典元；環境省ホームページ)

▶ 国の動向

(1) 専門家会議（令和5（2023）年1月設置）

- ・ PFASに対する総合戦略検討専門家会議（環境省）
- ・ PFOS・PFOAに係る水質目標値等専門家会議（厚生労働省）

検討

「PFOS・PFOAに関するQ&A集（案） 2023年7月時点」を
公表（環境省、令和5（2023）年7月）

<https://www.env.go.jp/content/000150400.pdf>

引き続き、水道水質目標値の設定等の検討を実施

▶ 国の動向

(2) 内閣府食品安全委員会

- ・ 有機フッ素化合物（PFAS）ワーキンググループ
（令和5（2022）年1月設置）

検討

「有機フッ素化合物 評価書」（令和6（2024）年6月）公表

<http://www.fsc.go.jp/fscis/evaluationDocument/show/kya20240625001>

- ・ PFASによる健康影響について現時点での評価として、「人が生涯にわたって、毎日摂取し続けたとしても健康への影響がないと推定される摂取量として、PFOS及びPFOAともに、体重1 Kgあたり20ng」と公表

引き続き健康影響への評価について更なる研究や検討を実施

▶ 今後の方向性

・ PFOS及びPFOAの測定の重点化

市内河川で、PFOS及びPFOAが暫定指針値を超えて検出されているため、令和6(2024)年度から毎年度、基準点・準基準点の全7地点で測定を実施することとした。

・ PFAS(PFOS・PFOAを含む。)に係る市民への情報提供

有機ふっ素化合物(PFAS)については、国の動向に注視し、市民にきめ細かい情報提供を行うよう努める。